FIREBRIGADE

津波で流出した市消防団第９分団２部（久喜）屯所が移転新築

拠点復活　地域のため一層の活動誓う

東日本大震災の津波で流出した、市消防団第９分団２部（久喜）の屯所が移転新築され、２月24日に完成しました。

３月20日、地元消防団や婦人消防協力隊など約60人が集まり、屯所前で開所式を開催。山内隆文市長など５人がテープカットを行い、地域の安全・安心を守る活動拠点の復活を祝いました。

思いを込め、山内隆文市長など５人がテープカット

祝賀会で謝辞を述べる川戸道達三分団長

開所式後は市内催事場に移動し、落成記念祝賀会も開催。山内市長など３人が祝辞を述べ、団員の懸命な活動をねぎらいながら、今後のさらなる活躍を期待しました。

迅速な水門閉鎖と避難指示で、12メートルの防潮堤をも越える津波から、地域全員の命を守った第９分団２部。川戸道達三分団長は「すぐに再建に乗り出してくれた市に感謝。屯所が戻り、地域の人も安心していると思います。新たな拠点を活用し、団員一同、市民と地域のために一層頑張っていきます」と誓っていました。

移転新築した活動拠点

屯所の概要

色合いと屋根の形状は、隣接する久喜保育園に配慮し、全体的にやわらかい印象。出動時など団員がスムーズに行動できるよう、車庫などは広めのスペースが確保されている。

■**住所**　宇部町 20-146-1
■**構造**　木造２階建て
■**工期**　平成 23 年 11 月 10 日～平成 24 年２月 24 日
■**事業費**　1,279 万円

FIRESTATION

消防本部に高機能消防指令センターが完成

最新システム　消防防災力の向上確信

３６５日24時間、久慈広域４市町村からの緊急通報を受け付け、出動指令を出す久慈広域連合消防本部の通信指令室。この消防救急活動の中枢が３月21日、最新鋭の機能を備えた高機能消防指令センターに生まれ変わりました。

同日、防災センターで竣工式を開催。広域４市町村長など、約50人が出席しました。

広域住民の安全・安心を祈りテープカット

同連合の連合長である山内隆文市長は「久慈広域６万５千人の安全・安心のため、最新のシステムのもと一層の消防体制の強化に取り組みます」と式辞。式終了後は、４市町村長など７人が期待を込めてテープカットを行いました。

その後、通報を受信すると瞬時に発信場所や現場への最短ルートが分かるなど、システムの優れた特徴を職員が説明。火災発生を想定した緊急出動訓練も行われました。迅速かつ的確な出動に、出席者はシステムの効果と消防防災力の向上を確信していました。

訓練でシステムを操作する消防職員

指令センターの概要

発信場所や現場への最短ルートが自動表示され、地図は消防署・分署などの出動車両に転送できる。またFAXとメールでの緊急通報受信も可能になったほか、消防団への出動指令も迅速化。出動時間の短縮と初動対応の強化が期待される。

■**工期**　平成 23 年５月 31 日～平成 24 年３月 21 日
■**事業費**　３億 6,645 万円

MOVIE

ＫＷＮ日本ビデオコンテストで審査員特別賞

久喜への思い映画に込めて

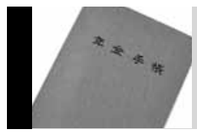
全国各地の小・中学校88校が参加した、パナソニックキッズスクール・ＫＷＮ（キッド・ウィットネス・ニュース）日本の２０１１年度ビデオコンテスト。２月17日、その審査結果が発表され、久喜小学校（澤田晶子校長・児童58人）が制作した映画「生きる～久喜の海とともに～」が審査員特別賞を受賞しました。

賞状を手に笑顔を広げる久喜小６年生ら

「生きる」は、同校の復興教育のまとめとして、６年生が制作した約４分30秒の映画。６年生は撮影や編集作業に悪戦苦闘しながらも、地域の人たちへの感謝の気持ちや、大好きな久喜の海に対する熱い思いを映画に込めました。

坂本竜輝くん（６年）は「みんなで頑張って作ったので受賞できてうれしいです。ぼくの夢は漁師。将来も魚がたくさん捕れる久喜の海でいてほしいです」と願っていました。

これからも久喜で生きる―。久喜っ子の強く真っすぐな思いは、地域の人たちはもちろん、審査員など全国の人の胸にも響いたことでしょう。



国民年金保険料と学生特例

問市民課☎ 52 － 2118

前納・振替がお得

４月からの国民年金保険料は月額１万４９８０円です。

納付方法によって、保険料は割り引きになる場合があります。現金で１年分前納すると年額３１９０円、半年分前納で年額１４６０円（７３０円×２回）が割り引きになります。口座振替の早割を申し出ると、毎月納付でも月額50円が割り引きになります。

保険料の納付は、お得な前納や口座振替をお勧めします。納付方法を変更する場合は、市民課（市役所１階）に申し込みください。

学生特例は毎年申請

国民年金には、在学中の保険料納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

特例の適用を受けるには毎年申請が必要です。平成23年度分の申請は４月27日（金）までです。平成24年度分の申請は４月から受け付けます。

平成23年度分の申請が済んでいない人や、平成24年度分の適用を受けようとする人は、次のものを持参の上、市民課（市役所１階）で申請してください。

▼**申請に必要なもの**…①学生証の写し、または在学証明書②印鑑

ハガキ返送もＯＫ

また日本年金機構からハガキ（学生納付特例申請書）が届いた人は、必要事項を記入して返送することで、学生納付特例の申請ができます。

スキーで大活躍！

吉田匠吾くん（久慈小５年）東北制し全国６位

２月19日に北上市で開かれた第33回岩手県ジュニアアルペンスキー大会・キッズ２男子の部で、平庭高原ジュニアの吉田匠吾くん（久慈小５年）が見事優勝。大活躍はさらに続き、３月３日のナスターレースチャンピオンシップ東北決勝大会をも制しました。

スキー経験は１歳からという吉田くん。練習で高めた技術と、果敢なすべりが勝利につながりました。

３月21日～23日には全国小学生アルペンスキー大会にも初出場し、６位入賞。大活躍の吉田くんは「滑っているときが一番気持ちいい！ 今回すごい自信がつきました。来年も全国で活躍できるように頑張ります！」と目を輝かせていました。

少年スポーツ奨励賞

久慈ミニバスを表彰

久慈ミニバスケットボールスポーツ少年団が、第35回岩手県ミニバスケットボール交歓大会（１月７－９日）男子の部で第３位に入賞。市教育委員会は３月21日、同団体に少年スポーツ奨励賞を贈りました。